

NSC だより

☆NSC活動、3年目を締めくくる！

『区民が安全・安心に暮らせる地域づくり』を進める「中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）」、その3年目の活動を、2月22日（金）の反省まとめの会をもって締めくくることができました。町からSCアドバイザー向山さん・SC推進室小林さん・福祉課鈴木さん、町社協から小沢さんのご出席をいただきました。役員の皆様の献身的な取り組み、区民の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

3年目の平成30年度は、これまでの事業に加え**新たな取り組みも見られた一年**でした。その点を中心に各対策委員会等の事業報告をご紹介申し上げ、次年度の歩みを共に作り出していただくと願っています。

事務局

初めて、事務局が主催して「防災関係学習会」（10月）を企画しました。30名余の区民の皆様のご参加をいただきました。ご参加いただいた方々から次のような声をいただいたことは、既にご紹介したことです。

- ・白馬村の団結力（共助）がすごいと思った。地域のつながりの大切さを感じた。日常生活でのコミュニティ活動が大事だと感じた。



- ・地域の普段からの交流が有事の際に力を表わすことが理解できた。
 - ・「地震は必ず来る」の意識をもって、対策を考え、被害の軽減を目指した取り組みをしていきたい。
 - ・地震保険の必要性、地震後の火災防止の面から感震ブレーカーの必要性も感じた。
- 10月にお願いした区民アンケートでは、次のような感想もお寄せいただいています。

◇NSCの活動が見えて来ています。区民の関心も徐々に高まって来ているのでしょうか。この間の防災学習会のような形で、区民が集まる機会をこれからも大事にしていったら良いと思います。

区民の皆様のご力を得て、「より安全・安心に暮らせる地域づくり」が、NSCの願いです。

上記のような区民の皆様からいただいた声を受けとめ、「安全・安心に暮らせる地域づくりに」いっそう努めていきたいと事務局では考えています。

交通安全対策委員会

新たな重点的な取り組みは、「児童・生徒の交通安全の推進」でした。

◇通学パトロールの実施他

- ・3月～1月末まで登校日数186日に、延べ182人の人が交通指導にあたってくださいました。（委員・安協・みまもり隊の皆様）子ども達からは、全員から挨拶の聲がかけられるようになりました。
 - ・「通学路」の標示版を4箇所を設置しました。
- *通学パトロール継続へのご協力をお願いします。



◇信号のない交差点の生垣削除

- ・地権者の方々の了解を得て、区会の支援も受けて見通しのよくない交差点の生垣の剪定・削除を行いました。
- ※夜間歩行の安全のために、反射タスキの提供（長寿クラブへ）を行いました。貸出用のタスキが公民館の玄関にあります。ご活用ください。

暮らしの安全対策委員会

新たな取組みは「草刈り支援」及び「新たな交流の場づくり」でした。

◇草刈り支援

ゴミだし・雪かき支援に加えて、ボランティアの方々を募って（15名の方にご応募いただきました）草刈り支援活動を行いました。

◇新たな交流の場づくり

- ・子育て世代の親子の皆さんとの交流（既報 7/7 中原社協との連携）

75名余の参加を得ての実施となりました。参加いただいた方から、NSCで実施（10月）したアンケートに次のような声を寄せていただきました。

「私どもの家族では7/7のにっこりフレンズの交流会に参加させていただいたり、命のカプセル（救急医療情報キット）を設置したりと、NSCの活動を通して地域交流や安全に対する知識を深めております」

・「ふれあいなかはら」（ふれ合いサロン）の開設

当委員会で話し合いを進め、標記の「ふれあいなかはら」の開設を行いました。代表には、生活・介護支援サポーターの資格を有する白鳥ゆり子さん・向山美智子さんに就いていただきました。また、代表と共に他の6名の皆さんが運営委員として務めていただきます。第1回を2月16日（土）に開き、22名の皆さんの参加で、健康チェック・みんなでお茶飲み会等でふれ合い、有



「ふれあいなかはら」（第1回）

意義な時を過ごしました。

今後は、毎月第2土曜日の午後2時からの開催となります。多くの区民の皆さんのご参加をお待ちしています。

災害等緊急時対策委員会

新たな取組みとして、「家庭用防災備品の各戸配付」を行いました。事前の回覧を通じて3品《防災用簡易ルミカライト・レスキュー簡易寝袋・停電用ローソク》の中から、1つ選んでいただく形で実施しました。いざという時の助けになればと考えます。

防災に係わっては、防災関係学習会に参加された方の防災・減災に寄せた声も心に響きました。再掲しておきます。

- ・家具転倒防止などできることから取組んでいきたい。
- ・防災意識をもっと高めていかなければ…と思いました。家族でしっかり話し合ってみないといけないと思います。
- ・地震対策や地震保険はしているが、もう一度確認し直し、もっと出来ることがあるのか考えてみようと思う。
- ・感震ブレーカー等にも関心を寄せていきたいと思ひます。

防災備品の希望世帯への配付



一年間、中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）へのご理解、ご協力をありがとうございました。来年度（2019年度）もよろしくお願いいたします。